

あおい開惺高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	教科書	副教材
家庭基礎	2	東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」	
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年2回）、面接指導（年8回）での評価		

指導目標

- (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

〔評価の観点〕

【主体性】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭・地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

【知識・技能】生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭生活などの基礎的なことについて理解を深めるとともに、それらに係る技能を身に付けることができている。

【思考・判断力・表現力】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現できている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	面接指導実施計画（スクーリング内容）
第1回 提出期限 5月29日	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	①人生を展望する ②目標を持って生きる ①人生をつくる ②家族・家庭を見つめる ③これからの家庭生活と社会	面接指導【2月26日まで】 ・自立について ・ライフステージとライフプラン ・ジェンダーと男女共同参画社会 ・社会の中の家族・家庭について
第2回 提出期限 6月30日	第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	①命を育む ②子供の育つ力を知る ③これからの保育環境 ①超高齢・大衆長寿社会の到来 ②高齢期の心身の特徴 ③これからの超高齢社会 ①私たちの生活と福祉 ②社会保障の考え方 ③共に生きる	・生命に対する責任について ・現代の子育て環境の変化や課題 ・赤ちゃんの身体・心の発達 ・子育てに対する理解 ・超高齢社会の背景と課題について ・社会福祉、社会保障制度について ・共生社会の実現について ●【被服実習】縫物の基礎
第3回 提出期限 7月31日	第6章 食生活をつくる	①食生活の課題 ②食事と栄養・食品 ③食品の選択と安全 ④生涯の健康を見通した食事計画 ⑤食生活の文化と知恵 ⑥これからの食生活	・食生活の課題と食事の意義について ・食品の選択と安全 ・調理の基礎 ・日本と世界の食文化の特徴について ●【調理実習】氷点降下を利用した アイスクリーム作り ■前期単位認定試験【9月】

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画 (実施内容)
第4回 提出期限 10月30日	第7章 衣生活をつくる	①被服の役割を考える ②被服を入手する ③被服を管理する ④衣生活の文化と知恵 ⑤これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能と特徴について ・被服の管理方法について ・日本の衣文化について ・残り布や古着の活用 <p>●【調理実習】和食の基礎</p>
第5回 提出期限 11月30日	第8章 住生活をつくる	①住生活の変遷と住居の機能 ②安全で快適な住生活の計画 ③住生活の文化と知恵 ④これからの住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図を理解する ・住宅の環境性能について ・世界や日本のさまざまな住文化について ・自助・共助・公助に基づく地域コミュニティについて ・持続可能な住居、環境に配慮した住生活について <p>●【防災】災害に備える衣食住</p>
第6回 提出期限 12月25日	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	①情報の収集・比較と意思決定 ②消費者の権利と責任 ③生涯の経済生活を見通す ④これからの経済生活 ①持続可能な社会を目指して ①生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任について ・経済的自立の重要性について ・各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について <p>●【世界のお茶文化】おいしく緑茶を淹れよう</p> <p>■後期単位認定試験【12月・1月】</p>